

# 安全性評価・劣化試験

## ■リチウムイオン電池の安全性試験 落下試験

リチウムイオン電池の安全性試験として、落下試験があります。一定の高度より、決められた角、辺、面を下にして、定められた材質の床面に落下させ耐久性を評価する試験です。試験規格によって、下記のように条件が異なります。

規格	対象電池	SOC	温度	落下高さ	床面材質	落下面
QC/T743-2006 6.2.12.4	単セル	100%	20±5℃	1.5m	木製	各面1回 自由落下
GB/Z 18333.1	組電池	100%	20±5℃	1m	木製	各面1回
SBA S1101 2011 8.2.3	単セル 電池システム 7kg以下 7-20kg 20-50kg 50-100kg 100kg超	100%	25±5℃	100cm	コンクリート	全体
				10cm		角部及び辺部
KMVSS 48.6.1	単セル	80%	25±5℃	4.9m	コンクリート	自由落下
SAND 2005-3123 3.3	組電池	80%	25±5℃	<10m	鋼製円筒	各面1回 自由落下



試験は内高さ7mのドームチャンバー内で実施します。  
ドームチャンバーにはチェンブロックが設置されており、高さ5mの落下試験にも対応可能です。  
試験実施にあたって、条件詳細については、お打ち合わせの上、決定いたします。

お問い合わせは、  
株式会社コベルコ科研 まで  
eigy@kki.kobelco.com